

国立研究開発法人森林研究・整備機構研究・育種勘定運営費交付金（継続）

【令和2年度予算概算決定額 10,462,755（10,058,527）千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や、林業技術の向上を図ります。

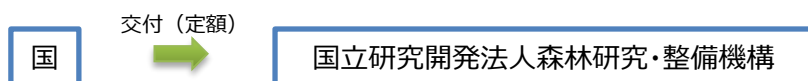
<政策目標>

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成します。

<事業の内容>

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構は、**森林及び林業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資する**ことを目的として設置されています。
- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究等を着実に推進し、国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成するため、**森林・林業分野における行政課題に対応し、**
 - ア 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林管理技術の開発
 - イ 国産材の安定供給に向けた持続的的林業システムの開発
 - ウ 木材及び木質資源の利用技術の開発
 - エ 森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化の**試験研究を実施**します。

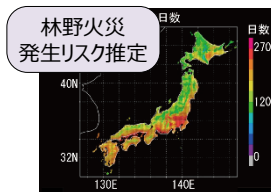
<事業の流れ>



<事業イメージ>

[森林研究・整備機構の試験・研究課題と取組事例]

ア 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林管理技術の開発



森林生態系を活用した治山技術の高度化と防災・減災技術の開発

生物多様性の保全等に配慮した森林管理技術の開発

イ 国産材の安定供給に向けた持続的的林業システムの開発



持続的かつ効率的な森林施業及び林業生産技術の開発

多様な森林資源の活用に対応した木材供給システムの開発

ウ 木材及び木質資源の利用技術の開発



資源状況及びニーズに対応した木材の利用技術の開発及び高度化

未利用木質資源の有効物質への変換及び利用技術の開発

エ 森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化



樹木の生物機能の解明とその機能性の新たな有効活用

多様な優良品種の開発と育種基盤技術の強化

[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-6744-2312)